

教育相談だより（6月）

鳥栖市立鳥栖中学校

令和6年5月27日

6月 カウンセリング予定

4日(火) 11日(火) 25(火)

スクールカウンセラー
高先生より

こんにちは、スクールカウンセラーの高です。今日は『無意識にかけてる色眼鏡』について書いてみようと思います。みなさんは、レンズに色がついたメガネをはめたことがありますか？色のついたレンズは、はめた瞬間は色付きの視界になるのですが、はめ続けると自然に感じられるようになって、そのうち色付きレンズのことを忘れてしまいます。今日はそんなことを考えてみました。

私が子供の頃、母が私によく言う言葉がありました。それは「お母さんがいないと、あんたは何もできん」という言葉です。私の部屋が散らかっていても言うし、洋服を後ろ前に着てても言うし、とにかく私の生活のあらゆるシーンで母は言っていました。言われた私も多少嫌な感じはするものの特に耳に残ることもなく聞き流していました。そんな私もどうにかこうにか大きくなって家庭を持った時、母に何でも聞いて行動している自分に気がつきました。自分の家庭なのだから自分で決めればいいことも、気がつくとも母に電話で聞いてしまうのです。子育てを始めるとそれが余計に激しくなっていて何でも母に聞いてしまいます。聞くと、アドバイスがもらえるものの、ダメ出しももらいます。ある日、育児のことについて母に強くダメ出しをされたとき、ショックを受けました。私も私なりに初めての育児に奮闘していたのに、それを強く否定された気がしたからです。大きなショックを受けたその瞬間、ふと目が覚めるような感覚が自分の中に起こりました。「うん？私はなぜ母を頼りに暮らしているのだろう？」と思いました。私は子供の頃から『お母さんがいないと、あんたは何もできん』という色眼鏡をかけ続けて、かけているうちに色眼鏡をかけていることさえ忘れて、それが本当の世界だと思い込んでいたみたいです。だから、なんでも母に聞いてしまっていたのです。母に育児をダメ出しされて大きなショックは受けましたが、そのショックのおかげで色眼鏡が吹っ飛びました。私は私の暮らしや育児を私が決めようと思いました(たまたま母に聞くこともあります)。

人間で色眼鏡をかけていない人はいないと思います。色眼鏡にいいも悪いもありませんが、暮らしの中でなんだかつまずいてしまうとき、色眼鏡がどんな色だったかを知るだけでスムーズに進む場合があります。色眼鏡のこと、カウンセリングでも扱えますのでお気軽にご利用ください。(おまけ:うちの母、ガミガミママだけどいい人です)

《予約の仕方》

1. 生徒の皆さんは、学校で申し込むことができます。保護者の方は電話で予約をお願いします。予約は、担任や学年の先生、又は保健室の先生などを通してお願いします。教育相談担当で時間の調整を行います。

場所は、管理棟 3 階の相談室です。時間は、校時表にそって行います。

鳥栖中学校 TEL 83-2537